

令和5年度 第3回吉田町総合計画等審議会（議事録）

1. 開催日時

令和5年10月30日（月）10:00～12:00

2. 開催場所

吉田町役場2階 町民ホール

3. 出席者

氏名	役職等	備考
塚本 成男	吉田町教育委員会委員（教育長職代理者）	
増田 学	吉田町商工会長	
武田 高明	静岡うなぎ漁業協同組合専務理事	代理出席
田島 逸雄	吉田町社会福祉協議会長	
増田 竜彦	住吉区自治会長（自治会連合会長）	副会長
桐田 不二雄	片岡区自治会長	
白石 寿一	北区自治会長	
岩根 政次	吉田町さわやかクラブ連合会長	
松浦 セツ子	吉田町女性団体連絡協議会長	
田中 啓	静岡文化芸術大学教授	会長
大箸 武史	(株)静岡銀行吉田支店長	
瀧井 一也	島田掛川信用金庫吉田支店長	
飯田 千恵子	(株)FM島田放送番組審議会委員	
鈴木 佐知子	特別養護老人ホーム片岡杉の子園施設長	
滝井 愛美	保育園保護者（さくら保育園） 吉田町男女共同参画プラン検討委員会委員	
松永 進	島田公共職業安定所長	
鈴木 史朗	静岡県中部地域局長	オブザーバー

（敬称略）

※ 大石千恵子委員、村松直樹委員、松浦光紀委員、松浦祐之委員が欠席。
藁科昌利委員は代理人が出席。

4. 町長あいさつ

- ・第5次吉田町総合計画は、東日本大震災を受けて新しいまちづくりをするために策定した。
- ・第6次吉田町総合計画は、シーガーデンシティ構想の実現に向けた住吉防潮堤と吉田漁港のL2津波対策を行い、新しい吉田町を目指していくフェーズである。
- ・委員の皆様にも新しい吉田町を描いてもらい、第6次吉田町総合計画に反映させていきたい。

5. 会長あいさつ

【静岡文化芸術大学 田中啓委員】

- ・これまで第6次吉田町総合計画の基本理念について議論を行ってきた。
- ・本日は第6次吉田町総合計画基本計画の素案及び第4次吉田町国土利用計画の素案に対する審議となるが、この先何度も議論を行う機会がないため、委員の皆様から御意見をいただき、それぞれの計画に反映できればと思う。

6. 議事

6.1. 第6次吉田町総合計画について

事務局より「資料 No. 1 第6次吉田町総合計画基本構想（素案）」、「資料 No. 2 第6次吉田町総合計画基本計画（素案）」、「参考資料 No. 1 SDGs 17目標と169ターゲット一覧」、「参考資料 No. 2 吉田町総合計画の沿革」を説明した。

(1) 全体について

● 【田中会長】

- ・現行計画までに資料編に掲載されている諮問書や答申書等は形式的な文書であり掲載する必要がないと思われる。

→ 【事務局】

- ・資料編には形式的な公文書は掲載しないものとする。

● 【田中会長】

- ・各分野のページにSDGsのアイコンが唐突に掲載されているため、「本書の解説」ページに説明を追加するとともに、各分野のページにもSDGs目標に関する見出しをつけたほうがよい。
- ・SDGsアイコンの文字が見づらいので、印刷版ではサイズも少し大きくするなど、クリアに見えるように改善していただきたい。

→ 【事務局】

- ・そのように対応する。

● 【田中会長】

- ・例えば、資料 No. 2 P 4 6 「分野の主な成果指標」の「創業者数（累計）」とはいつからいつまでの累計か。P 4 7 「企業誘致」やP 4 8 「雇用・就業対策」の分野においても同様に、（累計）となっている指標についてはご確認いただきたい。

- **【〇〇委員】**

- ・成果指標の性格として、現状値に比べて目標値が良くなっているのが一般的なのではないか。目標値が現状値より悪くなっている指標や、個人情報紛失が0件などはあたりまえのことなので、努力してまちが良くなっていくことがわかりやすい指標にしたほうがよいのではないか。

→ **【事務局】**

- ・どのような指標にするのかは各課が苦慮しているところである。あたりまえのことを実施することは町にとっては良い状態であり、それを維持するための努力が必要というところから指標に設定している。

→ **【田中会長】**

- ・成果指標については、人口減少下の中ではどこの自治体も下がる一方である。町として責任をもってそれを維持するために取り組むという宣言と捉えていただきたい。

(2) 基本計画（素案）について

a) 地震・防災対策

- **【〇〇委員】**

- ・基本構想の「時代の潮流」において、外国人住民の増加について追記されたとのことだが、ハザードマップの多言語化等、災害時の外国人への対応についても「地震・防災対策」か「多文化共生」の分野に盛り込んでいただきたい。

→ **【事務局】**

- ・外国人住民に向けた多言語化については、公式 LINE に登録されている方については、日々の情報提供の中では対応している。今年度実施した事業の中では、外国人住民が災害時の避難に不安を感じていることから、外国人を対象とした防災に特化した説明会を実施している。P 60の施策1に外国人住民に向けた施策は掲載しているが、防災に関する内容は記載されていないため、「地震・防災対策」か「多文化共生」のいずれかの分野に盛り込んでいきたい。

→ **【田中会長】**

- ・「地震・防災対策」の分野に追加するのがよいと思われる。

b) 上水道

- **【田中会長】**

- ・資料 No. 2 P 24 「効率的な水道事業の運営」において、人口減少に伴って、水道利用は減少するため収益は減少するものと想定されるが、水道料金を上げることなく収益を上げるために、どのような対策を取るのかを記載していただきたい。

→ **【事務局】**

- ・民営化による効率的な運営は料金徴収等に関して担当課が進めているところである。計画書の文章に記載することも検討していきたい。

c) 商工業

- **【〇〇委員】**

- ・シーガーデンシティ構想や東名吉田インターチェンジ周辺の開発等の事業に関しては華やかな

印象を受けるが、既存産業に対してはどのように支援していくのか。資料 No. 2 P 4 4 の「分野の主な成果指標」は、どのように支援してどのような姿を描いているのかが明確でない。農業や水産業も含めて、若い人が町の農業、水産業、商工業に魅力を感じて、町の活性化につなげていくのが理想的な姿であるが、それに対する支援が行き届いていない。もっと明確な指標はないのか。

→ **【事務局】**

- ・農業については認定農業者として効率よく実施していくことを施策として展開している。商工業については、シーガーデンシティ構想の中でも民間を活用して地元産業と連携していくことを検討しているが、具体的には数値として目標を設定できない段階であるため、今後検討していきたい。

● **【〇〇委員】**

- ・教育においても、吉田町で起業したい、働きたいと思えるような、子供たちが小さい頃からの地域愛の醸成が必要だと思う。

● **【〇〇委員】**

- ・教育、まちづくり全般において、若い人が町に戻ってくるために関与していく必要があると思う。吉田町の商工会の会員はこの景気の悪い中でも740～750社に増えてきているので、ぜひ具体的な施策としてご協力いただきたい。大手の商業事業者の参入は、雇用の面では助かるが、まちに活気や賑わいを創出するには小規模事業者の協力は欠かせないものである。

● **【〇〇委員】**

- ・以前にもお願いしたが、シーガーデンシティ構想、東名吉田インターチェンジ周辺の開発、小山城周辺の道路整備に関しては早めに情報提供をお願いしたい。

→ **【田中会長】**

- ・ご意見ご要望として事務局には承っていただきたい。

d) 新産業・企業誘致

● **【〇〇委員】**

- ・働きやすい、住みやすいまちにするためには、どの世代もターゲットにしなければならないが、中高生が大学で外に出て、吉田町に戻って来て働きたいと思えるような取組が必要である。資料 No. 2 P 4 6 「新産業」やP 4 7 「企業誘致」では創業者数や企業進出件数を増やすような取組をもう少し充実させたほうがよいのではないか。

→ **【田中会長】**

- ・資料 No. 2 P 4 6 ～P 4 7 「新産業」や「企業誘致」の分野は書きぶりがあっさりしすぎているため、担当課に検討していただきたい。

e) 雇用・就業対策

● **【〇〇委員】**

- ・資料 No. 2 P 4 8 「雇用・就業支援の充実」において、「相談窓口紹介による労働者が抱えてい

る問題の解決…」とあるが、「相談窓口紹介」がわかりにくいいため明確にしていきたい。

→【事務局】

- ・担当課に確認し、計画書の中でも明確な文章に修正する。

f) 高齢者福祉

●【〇〇委員】

- ・ケアマネジャーが高齢化しており、数年後に担い手が不足することが懸念される。新しい人がなかなか増えない。地域包括ケアシステムの推進にケアマネジャーの存在は重要であり数年後には大きな問題になると思う。制度的な問題で、5年に1回の更新がかなり負担になるのでそれに対する支援をお願いしたい。

→【田中会長】

- ・「現状と課題」の中で触れていくのかを担当課で検討していただきたい。

→【事務局】

- ・資料 No. 2 P 7 7 「施策1 介護保険サービス・介護予防事業の充実」で、連携推進を図るといいうのが大きな方針となり、その中でケアマネジャーの担い手不足についても検討していく。

→【田中会長】

- ・〇〇委員のご指摘は、連携していく上で大きな課題となり、連携が絵に描いた餅になりかねない、重要な指摘だと思うので、そこを意識して捉え方をもう一段高めていただきたい。

●【〇〇委員】

- ・2025年問題、2040年問題に対応するため、人材の確保は大きな課題である。現状と課題で触れていただきたい。

→【田中会長】

- ・前期基本計画の4年間ではなんとか持ちこたえるかもしれないが、重要な問題であることを認識して検討していただきたい。

g) 学校教育

●【〇〇委員】

- ・学校と地域との繋がりとして、コミュニティスクールディレクターが活用されているが、それに関する文面がない。

→【事務局】

- ・入れていくべきなので、担当課に働きかける。

h) 芸術文化・文化財

●【〇〇委員】

- ・資料 No. 3 「第4次吉田町国土利用計画」P 5 4に文化財指定状況が掲載されているが、総合計画に無形文化財に対する施策がない。担い手が不足しているというわりに施策がないので、ハード面だけでなく無形文化財に対する施策を検討していただきたい。

→【事務局】

- ・資料 No. 2 P 9 4 「施策2 文化財の保護と活用」では、人手不足に加えて文化財の保護をどの

ようにしていくかを今後具体的に検討していく必要がある。文化財に関しては、地元の当事者が保護する意識がないと行政としても打つ手がない。形が変わると文化財も指定解除ということもあり得ることであり、行政が作り上げたものではなく地域から生まれた文化財だと思うので、地元が積極的に保存会などを設立してどのように保存していくかを検討していくものだと思う。とはいえ、行政は何もしないというわけではないので、協力できるところは支援していきたいと考えている。

● 【〇〇委員】

- ・ 奴に対する若い人の気持ちが薄れており、継承者が不足しているため、保存会の設立が検討されている。自治会の方で具体的な方針が決まったら、町でも文化財指定や補助金だけでなく、担い手のPR活動等の支援をお願いしたい。

→ 【田中会長】

- ・ 資料 No. 2 P 9 4 は、継承者不足のことは記載されているが、書きぶりが一般論的なため、実態を把握していただき、地元の方がどうされたいのかを検討するきっかけになるような働きかけを町にはしていただきたい。

6.2. 第4次吉田町国土利用計画について

事務局より「資料 No. 3 第4次吉田町国土利用計画（案）」、「資料 No. 4 第4次吉田町国土利用計画参考資料（案）」、「資料 No. 5 第4次吉田町国土利用計画（案）の新旧対照表」、「参考資料 No. 3 第4次吉田町国土利用計画（案）に対する静岡県協議結果一覧表」、「参考資料 No. 4 自然公園法修正箇所」を説明した。

● 【田中会長】

- ・ 第4次吉田町国土利用計画案について、主に県との協議結果を踏まえた修正箇所の説明があった。これについて意見、質問はないか。

→ 【〇〇委員】

- ・ 商工業の立場から要望したい。資料3のP4に「既存工業用地の効率的土地利用及び町内に分布している工場等の移転・集団化を促進する」とあり、環境などの難しい問題はあるが、至急進めていただき、人材の流出・学校を卒業した人のリターン、商工業の発展など、工業用地（工業集積促進ゾーン(1)(2)）の土地利用・施設立地等の促進を積極的に推進いただきたい、と要望する。

→ 【田中会長】

- ・ 要望ということで意見を頂いた。県との協議結果は、主に文言の修正で、内容が変わったわけではないのか。

→ 【事務局】

- ・ そのとおり。

6.3. その他

- **【田中会長】**

- ・他の意見がないので、協議はここまでする。オブザーバーで参加している静岡県の鈴木氏に一言いただきたい。

- **【鈴木オブザーバー】**

- ・毎回出席させていただき、意見を聞かせていただき色々参考させていただいている。総合計画とは自治体として責任を持って取り組んでいく施策を体系化し、達成するための目標・手段を明確にしたものである。夢も語りたところであるが、最後には達成できないといけないというのもあるので、文章をつくるのに苦労したのではないかと計画書案を見てよくわかった。
- ・総合計画は、役場が責任を持って取り組む一方で、住民の方々、議員、町長、職員が認識を共有するためのものである。町が責任を持って取り組むものだが、住民や（企業・団体等）関係の方々が一緒に取り組むための行動指針になるものなので、議論が終わって計画ができれば、この計画策定に携わったことから計画を理解し、周りの方々にも広めていただきたい。この計画は広範なものであるから、全部を理解するのは難しいと思うので、基本構想に書かれている理念や大きな考え方などは胸に落としておいてほしい。
- ・吉田町の計画は非常にわかりやすい。基本構想では、海から人を遠ざけず、そこに賑わいを創出する。豊かな産業から雇用をしっかりとつくる。計画の前面にはあまり出ていないが、子育て支援にも力を入れており、特殊出生率も高いなど実績もある。
- ・町の構造をしっかり理解していただき、周りの人にも広げて行けたらと思う。

- **【田中会長】**

- ・総合計画の意味というものを大変わかりやすく説明いただいたと思う。総合計画は役場だけが作るのではなく、役場と住民が一緒になってつくり、計画が出来た後には一緒に施策を行っていくものだと思う。これまでも皆さんに協力を頂いているが、引き続き、よろしくお願ひしたい。

- **【事務局】**

- ・次回は11月27日（月）10時、この会場で開催を予定している。追って通知する。

以上